

百日咳が増えています！**-赤ちゃんの百日咳は重症化することがあります-**

◆ 赤ちゃんの百日咳の特徴は？

- 大人より重症化しやすく、特に6か月未満の乳児では、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることがあります。
- 百日咳はコンコンと激しい咳が続いた後、ヒューッと息を吸い込む音がする咳発作が特徴的ですが、赤ちゃんではみられないことがあります。
- 単に息を止めているような無呼吸発作から、けいれん、呼吸停止に進むことがあります。

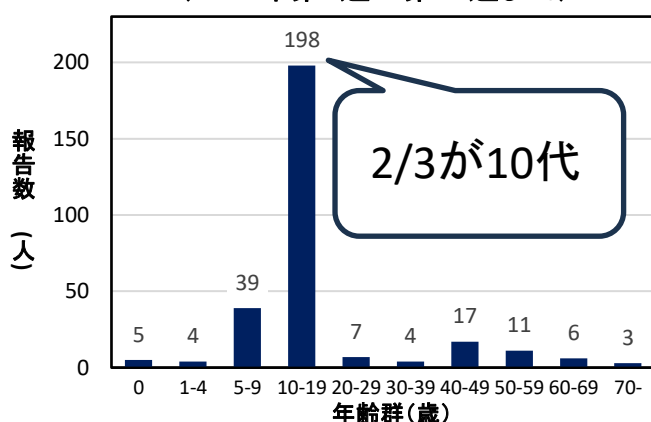


◆ どのくらい流行っているの？

群馬県の百日咳累計報告数
(2018年第1週～2025年第21週まで)



年齢群別百日咳報告数
(2025年第1週～第21週まで)



◆ 赤ちゃんを守るためには？

- 生後間もない赤ちゃんや定期予防接種完了前の子どもたちは十分な免疫が得られていません。
- 流行時、乳幼児を連れての外出は人混みを避けるようにしましょう。
- 家庭内に持ち込まないよう周囲の方々が感染予防対策を徹底しましょう。



◆ 予防のためには？

- 定期予防接種（5種混合ワクチン等）をきちんと受けましょう。
- 妊婦さんにも接種できるワクチンがあります。
- 石けんによる手洗いやアルコール消毒をこまめに行い、マスクの着用を心がけましょう



◆ こんな症状があるときは？

- 激しい咳症状や咳症状が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



群馬県HP「百日咳」

<https://www.pref.gunma.jp/page/3315.html>

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター（群馬県衛生環境研究所）

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp